

## 08s 主体的な人を育てるビジネスコーチング研修

### 1. 研修要領

・募集定員	16名
・研修会場※	NISA研修室（住所：〒850-0032 長崎市興善町4番6号）
・講師	福岡ソフトウェアセンター（FSC）講師：深月 敬子
・開催月日	2024年9月12日（木）・13日（金）
・実施時間・日数	9:30 ～ 17:30（7時間/日）・2日間（14時間）
・受講料（税別）	94,560円
・教材料（税別）	6,000円

※研修会場は変更する場合がありますので最新情報はNISAホームページでご確認下さい。

### 2. 対象者

- ・部下・後輩を指導する立場にあり、部下・後輩の能力や主体性を引き出すスキルを習得したい方
- ・部下のスキル指導やモチベーションアップに課題を感じている方
- ・メンバーの考えを引き出し、新しい価値を生み出したいと考えている方

### 3. カリキュラムの概要

多様なメンバーを抱えるリーダーには、一人ひとりの成長を支援する人材育成手法が求められています。自主的・主体的な部下育成のために、部下の考えと行動を引き出す1on1や面談、職場指導スキルを身につけます。対話や質問を通じて相手に気づきを促し、自発的な行動に向かう支援ができます。また、個人の指導のためには、部下の行動特性や成熟度に応じた指示や支援を考慮する必要があります。部下の能力と行動力を伸ばすリーダーシップの発揮を目指します。

### 4. カリキュラムの詳細

2日間（14時間）

	科目	時間	科目の内容
9 月 12 日	1. 「個」を活かす人材開発	1.0h	・ジョブ型雇用時代の規範と評価 ・リーダーシップの定義 ・能力開発の条件 【ケース問題】指導しても育たない部下
	2. 部下指導の基本スキル	3.0h	(1)「傾聴のスキル」とは【ペアワーク】「聴く練習」 (2)「質問のスキル」とは【ペアワーク】「質問する練習」 (3)「承認のスキル」とは① ～ほめる 【ワーク】部下のほめ言葉をできる限り書き出す (4)「承認のスキル」とは② ～叱る 【ワーク】ケース問題から適切な叱り方を考える
	3. 成熟度に沿った対応	3.0h	・メンバーの成熟度やニーズを知る：診断 ・指導と支援を使い分けるリーダーシップ ・コーチングが必要なとき 【ロールプレイ】部下と面談 ①指示編 ②フィードバック編

	科目	時間	科目の内容
9 月 13 日	4. コーチングの基本プロセス ～GROWモデル	2.0h	・主体的な目標達成フレームワーク ①GOAL(目標の明確化) ②REALITY(現状把握) ③RESOURCE(資源の発見) ④OPTIONS(選択肢の創造) ⑤WILL(意志の確認、計画の策定) 【演習】部下・後輩の目標達成を支援する
	5. タイプに合わせた対応	2.0h	・主張性と感情反応性による4タイプ分類 ・各タイプの行動特性の違い 【演習】振る舞いを使い分ける
	6. 対話によって実行計画を練る	2.5h	・「SMARTモデル」に沿った1on1 ①Specific(具体性がある計画か) ②Measurable(実行度合いを測定できるか) ③Attainable(達成の可能性があるか) ④Relevant(目標達成と関連性のある計画になっているか) ⑤Time-Phase(実行の期限が明らかになっているか) 【演習】コーチング実習
	7. まとめ	0.5h	・振り返り、今後の課題
	計	14.0Hr	

※改善のためカリキュラムは予告なく変更させていただくことがあります。

## 5. 使用教材

オリジナルテキスト

## 6. 到達目標

- ① メンバーが主体性をもって成果を上げ目標を達成するチームづくりを目指せる
- ② コーチングの効果的な3つの手法(傾聴・承認・質問)を習得する
- ③ メンバーの目標達成に向けて指導や支援ができるようになる
- ④ メンバーの成熟度によって、リーダーとしての振る舞いを変える技術が身につく
- ⑤ 具体的なロールプレイングを通して、1on1スキルが身に付く

## 7. ITSSレベル

-